

事業番号	11 11 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	リニア中央新幹線の建設促進と地域振興事業	部局	建設部 (企画振興部)	課・室	リニア整備推進局 (地域振興課)	
		実施期間	H24 ～	E-mail	linear-kyoku @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題
・リニア中央新幹線は、J R 東海が国の事業認可を受け、2027年（令和9年）以降の開業を目指し、東京・名古屋間の整備を進めている。（静岡工区の工期の見通しが立ったところで、改めて完了予定時期を変更。） ・長野県内におけるリニア中央新幹線の本線工事総距離（52.9km）のうち、96.9%にあたる51.3kmが工事契約済み。（令和5年11月末時点） ・県内のトンネル工事による建設発生土量は974万㎡と見込まれており、令和5年11月時点で候補地として26箇所が決定済み。（※県内発生土量の約5割に相当） ・リニア中央新幹線の整備効果を伊那谷地域の地域振興につなげ、伊那谷全体の発展に資するため、「リニア中央新幹線を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」を平成25年8月に設置。 ・伊那谷自治体会議において、「リニアバレー構想」（平成28年2月）、「リニアバレー構想実現プラン基本方針」（令和2年3月）を策定し、地元市町村や民間団体とともに、構想実現に向けた取組（景観形成、広域観光、広域二次交通、キャリア教育、企業誘致等）を進めている。 ・リニア建設工事には、地元の理解・協力が不可欠であるため、県としては、引き続き、発生土の活用や環境対策等の課題解決に向け、地元へ寄り添った対応をJR東海に要請していく必要がある。

2 事業目的
・リニア中央新幹線の建設を推進する。 ・リニア中央新幹線の整備効果を広く県内に波及させ、地域振興を図る。

3 事業目的を達成するための取組
①リニア中央新幹線を活用した地域振興の検討 ・「リニアバレー構想」の実現に向けた官民連携による取組の推進 ・「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」（座長：知事）の運営及び「リニアバレー構想実現プラン基本方針」に基づく取組の推進 ・自治体職員や経済団体等の構成員を対象とした勉強会の開催 ・沿線県（山梨・岐阜）との広域二次交通や広域観光の連携について共同研究 ②リニア中央新幹線の建設促進及び建設工事に伴う調整 ・リニア中央新幹線の建設を促進するため、沿線都府県や県内各団体と連携した活動を実施 ・建設工事に伴う発生土の活用や環境対策等について、関係市町村やJ R 東海等との調整を実施
 リニア中央新幹線による時間短縮効果 品川ー長野駅：約45分  リニア中央新幹線建設促進 長野県協議会総会（R5.7.21）

4 成果指標	(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)									
No.	指標名	単位	R4年度 実績	R5年度 実績	推移	R6年度 実績	推移	R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
①	勉強会・アドバイザー派遣・出前講座等の実施回数	回	6	5	↘	14	↗	10	達成	地元地域におけるリニア中央新幹線整備への理解と整備に向けた取組を促進するため、前年度の実績（見込）値を25%上回る10回を目標とする (R5年度の見込値を実績に修正)

5 本事業が貢献する総合 5 か年計画の施策分野と達成目標											
No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近 3 か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-1④	本州中央部広域交流圏の形成										

6 事業コスト	(単位：千円、人)						
区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	25,004	0	25,004	24,832	22,218	12.4
R5年度	0	34,531	0	34,531	9,761	29,488	11.8
R4年度	0	50,141	△ 1,371	48,770	9,644	42,173	13.2

事業番号	11 11 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	リニア中央新幹線の建設促進と地域振興事業	部局	建設部 （企画振興部）	課・室	リニア整備推進局 （地域振興課）			

7 主な取組実績と成果

①リニア中央新幹線を活用した地域振興の検討

- ・リニア開業後のまちづくりのあり方についての講演会や自治体や経済界の関係者が一堂に会して情報交換を行う機会創出のため、「リニアNAGANOサロン」を開催した（R6.12月）。
- ・リニアを活かしたまちづくりを関係市町村との共通認識のもと連携して推進するため、リニア駅近郊の土地活用のランドデザインについて、土地利用の基本的考え方の整理や開発適地の抽出・選定等を調査検討を行い、市町村ヒアリング及び有識者への意見聴取を行った。
- ・理解促進のための勉強会等について、伊那谷地域だけでなく、木曽地域リニア活用推進協議会（R7.3設立）に向けた木曽地域の関係者向けにも実施した（14回、計356人参加）。また、情報発信として「伊那谷リニアバレーNEWS」を発行した（4回）。
- ・他県との連携について、関係府省が連携して取組を支援するための「リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議」に参画し、沿線 4 県のビジョンや施策について議論。2回の会議（R6.1月、R6.9月）と4回の幹事会（R6.3月、R6.5月、R6.6月、R6.9月）を経て、新たな圏域の活性化方策について「中間取りまとめ」として示された。

②リニア中央新幹線の建設促進及び建設工事に伴う調整

- ・地域の意見・要望を踏まえ、「関係市町村長とJR東海幹部との意見交換会」において、課題への対応等について意見交換を実施した（R7.1.22）。
- ・建設発生土の活用や環境対策等の課題に対して、関係市町村やJR東海との間で調整を進めた。建設発生土について、発生土量に対して、調整中を含めて発生土量相当分の受け入れ候補地を確保した。また、要対策土については、県からの助言に対して対応方針の確認を行い、適性な活用に向けて取り組んだ。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	勉強会・アドバイザー派遣・出前講座等の実施回数	R5年度推移	↘	R6年度推移	↗	達成状況	達成
・開業延期が令和6年3月に公表されたことを踏まえ、長野県駅（仮称）を中心とした地域振興の歩みが止まることの無いよう、積極的に出前講座や勉強会等を実施し、地元市町村やまちづくりに係る関係者との理解促進・機運醸成に取り組んだ。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・「リニアバレー構想実現プラン基本方針」及び「リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議中間とりまとめ」に掲げたビジョンの実現に向けた、取組の具体化及び地域の多様な主体（市町村、広域連合、経済界等）との連携
- ・リニア中央新幹線の建設に係る課題調整、関係市町村との調整及び環境保全の調整等
（用地取得については、令和 5 年度末でJR東海との用地取得に係る受託期間が終了しており、令和 6 年度以降の用地取得業務はJR東海が実施）

(2) 事業改善の方策

- ・リニア開業延期を単なる待期期間とすることの無いよう、他県や市町村、事業者等とより密接な連携を図るとともに、時間軸を意識した取組の具体化・加速化を進めていく。
- ・J R 東海や関係市町村との連携を密にして、地域に寄り添った調整を進めていくとともに、課題解決に向けて、トップ会談等の機会を通じて、地域への丁寧な対応を J R 東海に要請していく。

事業番号	11 11 01	細事業一覧（令和6年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	リニア中央新幹線の建設促進と地域振興事業		部局	建設部 (企画振興部)	課・室	リニア整備推進局 (地域振興課)	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	中央新幹線活用地域振興事業費		3,483 千円	2,965 千円	17,638 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	リニア活用基本構想及びリニアバレー構想の実現に向けた取組の推進	直接	・「リニアバレー構想」の実現に向け、伊那谷自治体会議幹事会による取組推進、自治体関係者・関係団体との勉強会を開催（リニアNAGANOサロンとして実施） ・「リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議」への参画 ・地域の取組推進のため、進捗状況等を説明する出前講座等を実施 ・リニアを生かしたまちづくりを推進するため、リニア駅近郊の土地利用のランドデザインに係る市町村ヒアリング及び有識者への意見聴取を実施 会議の開催：伊那谷自治体会議幹事会（2回） 会議への参加：リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議（1回）、同幹事会（3回） 「リニア駅近郊ランドデザイン」の検討：土地利用の基本的考え方の整理や開発適地の抽出・選定等を調査検討		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	中央新幹線建設促進事業費		4,098 千円	4,248 千円	4,580 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	リニア中央新幹線の建設促進	負担金	・リニア中央新幹線建設促進長野県協議会へ負担金を支出し、沿線都府県や県内各団体と連携を図り、整備推進と安全・環境対策についての要望活動を実施		
			県協議会総会及び国等への要請活動の実施（各1回）		
2	リニア中央新幹線の建設に関する調整	直接	・建設工事に伴う発生土の活用や環境対策等について、関係市町村やＪＲ東海等との調整を実施		
			関係市町村長とJR東海幹部との意見交換及び知事とJR東海社長とのトップ会談等を実施（各１回）		